

2025年JAF四国ジムカーナ選手権第4戦

2025年JMRC全国オールスター選抜ジムカーナ第4戦

2025年JMRC中国ジムカーナチャンピオン、チャレンジシリーズ第4戦

POTENZA CUP SETOKAZE ジムカーナ2025

主催：瀬戸風モータースポーツクラブ 愛媛 (SETOKAZE)

開催日：令和7年6月22日

場所：瀬戸内海サーキット

レポート：JMRC四国 広報部会

R2クラス土居清明選手、R4クラス山下和実選手が開幕4連勝！

PNクラスは天満清選手が2勝目でシリーズトップに浮上

全7戦で争うJAF四国ジムカーナ選手権の折り返し点となる第4戦が、瀬戸風モータースポーツクラブ愛媛の主催で開催された。今回のイベントでは、初の試みとしてJMRC中国チャンピオンシリーズとチャレンジシリーズのクラスを纏めたRFクラスが併設されたため、総計68名の選手が会場となった瀬戸内海サーキットに結集し、熱い走りを披露した。

遠征組の活躍が目立つR1クラスには昨年のこのイベントで優勝している中国地区のKAZUYA選手が参戦。第1ヒートでリードを奪うと第2ヒートもタイムアップを果たし、ポイントリーダーの乃一智久選手の追撃を僅差でかわして優勝した。R2クラスは開幕戦から連勝が続く土居清明選手が第1ヒートをリード。第2ヒートに入っても誰も土居選手のタイムを上回れず第1ヒートのタイムで優勝を決め、開幕戦から4連勝。チャンピオンに王手をかけた。R3クラスは昨シーズンのチャンピオン高芝大輔選手が第1ヒートをリード。第1ヒートのタイムで逃げ切って今シーズン1勝目をマーク。2位には2勝をマークしている山崎聡一選手が入った。R4クラスは開幕戦から連勝が続く山下和実選手が第1ヒートをリード。ウイニングランとなった第2ヒートでも更にタイムを縮め完全優勝で4連勝。竹下俊博選手が3戦連続で2位となった。BSC1クラスは開幕戦からの4連勝を狙う田中康一選手が第1ヒート、タイムはトップながらもパイロンタッチで低迷。昨シーズンのチャンピオン窪田竜三選手がリードする展開。第2ヒート、窪田選手は更にタイムを縮めクラスラストゼッケンの田中選手の結果待ちに。田中選手は大きなミスもなく走り切ったものの窪田選手に届かず2位で連勝がストップ。窪田選手が今シーズン初優勝を飾った。PNクラスは、ここまで2勝をマークしてシリーズをリードしている徳永秀典選手が主催（競技長）のため不出場。1勝で追う天満清選手が第1ヒートをリードし、第1ヒートのタイムで逃げ切って優勝を決め、2勝目。徳永選手とポイントで並び、選手権規定上、順位では天満選手がシリーズトップに立った。2位には内田憲作選手が入った。

また、選手権対象外で競技ライセンス不要のCLクラスは、内田鉦輝選手が優勝。今回、併設のJMRC中国のタイトルがかかるRFクラスには23名の選手が参戦。TARO選手が第1ヒートのタイムで逃げ切って優勝した。



R1クラス優勝のKAZUYA選手



R1クラス2位の乃一智久選手



R 2 クラス優勝の土居清明選手



R 2 クラス 2 位のジュウガワ貴行選手



R 3 クラス優勝の高芝大輔選手



R 3 クラス 2 位の山崎聡一選手



R 4 クラス優勝の山下和実選手



R 4 クラス 2 位の竹下俊博選手



B S C 1 クラス優勝の窪田竜三選手



B S C 1 クラス 2 位の田中康一選手



P N クラス優勝の天満清選手



P N クラス 2 位の内田憲作選手



C L クラス優勝の内田鉦輝選手



C L クラス 2 位の西森実選手



R F クラス優勝のTARO選手



R F クラス 2 位の早坂怜選手



R 1 クラス入賞者
(右から上位・以下同じ)



R 2 クラス入賞者



R 3 クラス入賞者



R 4 クラス入賞者



BSC1クラス入賞者



PNクラス入賞者



CLクラス（選手権対象外）入賞者



RFクラス（JMRC中国）入賞者



閉会式・表彰式の状況